



# Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

**Press-release**

① 10月9日：

**ITUがバングラデッシュで衛星通信ターミナルを配備  
重要な通信回線がモンスーン洪水直後に回復**

**ITU deploys satellite terminals in Bangladesh**

**Vital communication links restored in aftermath of monsoon floods**

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/27.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/27.html))

ITUはバングラデッシュの遠隔地で洪水によって途絶した重要な通信サービスの回復を支援するため30の衛星通信ターミナルを同国に配備した。

今年のモンスーンシーズンが始まってから、バングラデッシュ（1億4000万の人口を有する三角洲地形の国）のほぼ3分の2が水浸しとなり多数の死者が出て国土が荒廃した。被害を受けた道路や航空機の滑走路、電気通信設備の不足が復旧の努力を妨げている。

機器の搬送、訓練と機器の利用に関する一切の費用はITUが負担している。ターミナルはすべてThuraya Satelliteから提供されており、主として音声通信に使用されている。ターミナルは電源として太陽電池パネルを装備している。

**緊急時テレコミュニケーションに関するグローバルフォーラム**

ITUは「災害管理のテレコミュニケーション/ICTの効果的利用に関するグローバルフォーラム」を「命を救う」と題して2007年12月10～12日、ジュネーブで開催する。多くの革新的な緊急時テレコミュニケーションの計画が、災害の前後や最中にテレコム資源が適時に介在できるように策定されるであろう。政府高官、テレコム運営体のCEO、国連機関やNGOが出席の予定である。

**10月10日 自然災害を削減する国際ナショナルデー**

ITU Hamadoun Touré事務総局長のメッセージは以下のURLから入手利用可能である。

<http://www.itu.int/net/ITU-SG/messages/2007/oct10.aspx>

② 9月27日：

**世界の若人、情報通信技術を活用してミレニアム開発目標を達成しようと呼びかけ**

**Youth press for Information Age technology to meet development goals**

**グローバルフォーラムで改革推進に向けた集団行動を提唱**

**Global Forum seeks collective action for positive change**

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/25.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/25.html))

ITUと国連のグローバルアライアンス（the United Nations Global Alliance for ICT and Development）は、9月24～26日ジュネーブで、‘Youth and ICT as Agents of Change’をテーマとしたThe Global Forum on Youth and ICT for Developmentを開催した。世界各国から約600人の若人が参加し、国連のミレニアム開発目標である貧困の低減や生活環境の改善のために、対話の促進や情報共有に優れた情報通信技術を活用するよう、力を合わせていこうと宣言した。3日間にわたる会合では、ワークショップ、パネル、ラウンドテーブルのほか、ICT技術の新しい活用法、若人によるイニシアチブやプログラムが披露され、参加した政府、産業界、市民社会、国際機関関係者との意見交換や支援者探しも行われた。

③ 10月16日：

**ウガンダの洪水犠牲者に通信回線を提供**

**Uganda flood victims receive telecommunication links**

**ITUが被害を受けた地域に衛星通信ターミナルを配備**

**ITU deploys satellite terminals in affected districts**

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/29.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/29.html))

ITUは、今年8月以来ウガンダの東部・北部地方を襲った厳しい洪水の後、重要な通信回線の復旧を支援するために25の衛星通信ターミナルを同地域に配備した。集中豪雨と鉄砲水がウガンダ全土を襲い、幾つかの地域では、多数の人たちが命を奪われ、道路や通信回線が破壊され、14万人以上の人たちが孤立したため、政府は非常事態宣言を行った。

通信回線の復旧は、救援にあたる政府や人道支援機関が



より効率的に救援活動を行えるようにする。ターミナルが最も必要とされる人たちに迅速にヘリコプターで運ばれることとなる。

ITUのEmergency Telecommunications Divisionの長であるCosmas Zavazavaは、「被災現場での対応は様々だ。過去3か月間、私たちは、三つの異なる地域で災害復旧用通信設備を配備しなければならなかった。8月に地震直後のペルーで、9月に洪水で荒廃したバングラデッシュで、今、ウガンダで災害復旧の介在をしなければならない。自然災害の時、通信は人々の命を救うことができる」と述べた。

ITUはThurayaの携帯型の衛星電話とInmarsatグローバルエリア・ネットワーク（GAN）ターミナルの両方を提供している。Thuraya衛星電話は衛星とGSMの両方のネットワークを使用し、人命救助と救援活動を支援するために更に正確なGPSポジショニング座標を提供している。Inmarsat GANターミナルは、主に音声通信に使用され、時には、高速データに使用することもできる。ITUは機器の搬送と使用を含むすべての費用を負担している。

#### ④ ITU-D e-flash September 2007

(出展：<http://www.itu.int/ITU-D/e-flash/latest.html>)

##### ● コネクトアフリカサミット

###### Connect Africa Summit

ルワンダのキガリで、2007年10月29-30日にサミットが開催され、コネクトアフリカの立ち上げが行われる。その目的は、アフリカにおけるICTインフラ開発に触媒の役割を果たすような重要なICTプロジェクトを実現すべく、パートナーを集結することにある。パートナーは、各国が用意する、持続可能なネットワーク構築に必要な民間投資を促進するような魅力的なICT政策と規制環境を利用してプロジェクトを進める。これらのプロジェクトは、更なる投資と開発を誘起すると期待される。

##### ● 2007年次管理理事会

###### The 2007 session of the Council

2007年次管理理事会が2007年9月4日から14日にかけて開催された。ITUのセクターメンバーはITU管理理事会にオブザーバーとして出席できる。ITU-Dセクターメンバーの中から希望のあった10候補のうち、各セクターに割り当てられたオブザーバー数、並びに、出身地域バランス、ITU-Dへの支払い分担単位数、当該セクターメンバーの業務内容等の選定基準に照らし合わせて以下の3社が選定された：

CompassRose International—米国、Saudi Telecom—サウジアラビア、Smart Communications—フィリピン。

##### ● Trends in Telecommunications Reform第8版

(—NGNへの道—)

the 8<sup>th</sup> edition of Trends in Telecommunication Reform, the Road to Next-Generation Networks (NGN)

Trends in Telecommunications Reform第8版（—NGNへの道—）が、2007年9月4日に出版された。今回は、NGNを取り巻く規制上の課題とビジネスチャンス进行调查しており、レギュレータや政策立案者が、電気通信事業に吹き荒れる変革を理解するのに役立つ。

##### ● G-REX模様替え

###### G-REX facelift

G-REX (The Global Regulators' Exchange) は各国のレギュレータと政策立案者のための、パスワードにより保護されたウェブサイトである。2007年9月以降、ユーザーはG-REXにログオンしたとき、新しい機能や、ナビゲーションが更に容易になった、新規かつユーザーフレンドリーなG-REXを発見するだろう。G-REXの最も人気のある機能はレギュレーターズホットラインであり、ここでは、ユーザーはバーチャルフォーラムの中で質問をしたり回答をもらったりすることができる。複数のキーワードで検索が可能となった新しい検索ツールは、的を絞った検索により、より適切な情報を得ることを可能にする。

##### ● GSR08

Mark your calendar! The 8<sup>th</sup> Global Symposium for Regulators (GSR 08)

GSR08 (Global Symposium for Regulators) は、タイ情報通信技術省とタイ国立通信委員会との協力の下、2008年3月12-14日にタイ国パタヤにて開催される。GSRは、先進国、途上国双方のレギュレータのトップを集めて年1回開催されるシンポジウムであり、レギュレータが意見交換し、経験を共有するグローバルな場として評価を高めている。

##### ● 統計年鑑の刊行

###### Yearbook of Statistics

マーケット情報及び統計部門 (Market Information and Statistics Unit : STAT) は、統計年鑑の新刊を刊行した。33回目の出版になる今回は、約180か国についての1996年か



ら2005年に至る時系列データを記載している。データは国ごとに表になっており、各国における電気通信/ICTサービスの発展を見ることができる。統計データは各国通信省や規制機関、通信事業者に送られたアンケートにより直接収集された。ITU統計年鑑は、公衆通信事業分野の進展に関する最も信頼のおける情報源となっている。

## ● サイバーセキュリティ／重要情報インフラ保護) 対策度自己判定ツール

### Cybersecurity-An ITU National Cybersecurity / CIIP Readiness Self-Assessment Toolkit

ICT環境の変化や、重要な情報インフラの保護並びにサイバーセキュリティを高める必要性を勘案し、各国が、自国の法制度や、手続き、基準、組織に問題がないかチェックできるようにするツールキットがITUにより開発中である。ツールキットは、政策並びに管理レベルにおける課題をチェックするもので、ITU-D SG1の課題22/1で作成中の報告書に就いて検討されている。

## ● 途上国向けITU ボットネット救済ツールキット

### ITU Botnet Mitigation Toolkit for Developing Countries

被害が増え続けるボットネットやハイジャックされてしまったコンピュータをいかにして排除するかなどについて、主に発展途上国を助けるためのボットネット救済ツールキットをITUは専門家とともに開発を進めている。ツールキットは、複数の利害関係者の協力により、多面的にボットネットを追跡し、その影響を抑えるもので、特に発展途上国のインターネットに焦点を当てている。最初のツールキットは2007年12月にITUメンバーに提供される予定である。

## ● 緊急通信 —ペルー地震被災地にITUは衛星端末を使用

### Peru Earthquake : ITU deploys satellite terminals in affected areas

2007年8月15日に南部ペルーを襲った大地震を受けてITUは、救助活動に不可欠な通信リンク回復のために衛星端末50台を運用した。

## ● 通信開発資金調達のためのカリブセミナー

### Caribbean Seminar on Issues in Telecommunication economics and financing

カリブ地域におけるITUの活動の一環として、通信開発資金調達のためのカリブセミナーが、カリブ通信ユニオン

(CTU) とカリブ通信事業者協会 (CANTO) ,カリブ公共事業レギュレータ協会 (OOCUR) の協力の下に開催された。セミナーは、2007年9月10-13日にアンティグアバーブーダ政府の招待によりアンティグアバーブーダにて開催された。

## ● 欧州・CIS諸国向けBWAセミナー

### Broadband Wireless Access

BDTとロシア情報技術通信省の共催により、欧州・CIS諸国向けBWA (Broadband Wireless Access) セミナーが2007年11月26-29日にモスクワで開催される。

## ● 障害者によるICTアクセスに関するセミナー

### Best practices to improve ICT access and services for persons with disabilities

障害者のためのICTアクセスとサービス向上に関する成功事例を紹介し共有するためのセミナーが2007年9月17日にジュネーブで開催された。セミナーには政策立案者やレギュレータ、障害者向けICT端末/サービス開発に従事するハードウェア/ソフトウェアメーカーの代表、サービスプロバイダ、ユーザーグループなどが参加した。障害者も参加し、自分たちの経験を紹介するとともに、政策の形成や支援技術の設計段階からユーザーグループとして関与していくことの必要性を強調した。